

# かわしんの 環境活動報告書

第4号 平成22年11月発行

eco  
facility  
エコファシリティ

eco  
management  
エコマネジメント

4つの視点で、  
総合的な環境活動を進める

かわしんの  
エコ・クローバー

eco  
product  
エコプロダクト

eco  
communication  
エココミュニケーション



埼玉県の蝶ミドリシジミ。  
河川敷や田んぼの周辺にあるハンノキ林に生息します。  
初夏の夕方、羽を輝かせながら飛ぶミドリシジミは埼玉  
の原風景といえます。

写真提供：塘 久夫 氏



JQA-EM 4039

本部及び本店営業部

かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、  
環境保全活動を実践しています。

未来が変わる。日本が変わる。



川口信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/ksb/>

# 地域社会の一員として、 「かわしん」は環境問題へ正面から取り組んでいます。

みなさん、こんにちは。

今年は猛暑に見舞われ、異常気象の一端を垣間見たような気がします。

温暖化問題が社会的関心を集めており、その原因の一つが大気中に排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の温室効果にあるとされています。環境問題は産業廃棄物の大量発生と不法投棄という形でもあらゆる方面に課題を投げかけており、その影響は海面上昇・森林破壊・砂漠化・オゾン層破壊等の深刻な問題となって現れています。

このような中、川口信用金庫は社会的責任の一つとしてCO<sub>2</sub>削減を掲げ、国際的環境基準である「ISO14001」を取得し環境問題に正面から取り組んできました。

また、環境問題として見逃せないのが、10月18日から名古屋で開催された世界の生態系保全について話し合う「生物多様性条約締結国会議(COP10)」です。日本では13年前(平成9年12月)に京都で開催された「地球温暖化防止京都会議」以来の重要な会議とされています。

これに関連し、私達が生活する埼玉県でも生態系保全のための取り組みを行っており、絶滅に瀕している埼玉県の蝶「ミドリシジミ」を始めとし、自然の生態系を守るため、森林や河川の再生が重要な課題となっています。

当金庫が取り扱い、みなさんに預金していただいている「環境クリーン定期預金」が、埼玉県の「彩の国みどりの基金」への寄付という形で県内の森林と河川の再生保護に役立っております。これからも地域の皆様とともに環境活動を継続してまいりたいと考えております。



平成22年11月

会長 山口泰男  
理事長 日下義章



ミドリシジミ

## ふるさとの原風景を取り戻そう県の蝶ミドリシジミ

ミドリシジミは埼玉県のレッドデータブックにも掲載され、絶滅が危惧される希少種です。シジミチョウ科に属し、翅開長は約4cm。オスの翅表は濃緑色に輝き、黒い縁があつてキラキラと飛ぶ姿が美しい蝶です。

平成3年の県民の日(11月14日)に「県の蝶」に指定されました。この年は明治4年に埼玉県が誕生して120年の節目に当たり、記念事業として「県の魚・県の蝶」が選定されました。県内の公立小中学校を対象に投票を経て選定委員会によって決定されたのですが、ミドリシジミの得票数は2位だったとか。昆虫を

## 環境方針

### I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一体となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

### II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。

2. 前記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、及び福祉・環境を大切にする地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。

3. 環境に関する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。

4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、その環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。

5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

## 平成22年度環境目標

### I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

#### 1. 電力の使用

電力使用量を12.6%削減する(平成14年度比)

#### 2. 廃棄物の分別と排出

廃棄物の分別を推進するとともに、物件費を12.0%削減し排出量の削減を図る(平成14年度比)

#### 3. 紙の使用・廃棄

紙費用を15.0%削減する(平成14年度比)

### II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

- 1 既存の環境関連金融商品の拡販
- 2 新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
- 3 O A 機器の効率的活用
- 4 コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
- 5 顧客へのISO普及・支援
- 6 各種地域貢献活動の立案及び実行
- 7 環境関連のその他サービスの提供

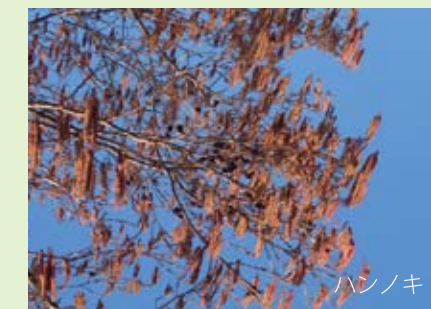
## かわしんのISO・環境関連の経歴

- H15.9.1 「環境管理室」設置
- H15.9.12 第1回コンサルティング開発
- H15.12.3 かわしんISO関連特別融資の発売開始
- H16.5.28 ISO認証取得(H16.5.28~H19.5.27)
- H17.6.21 クール・ビズ開始(以降毎年6~9月実施)
- H17.11.1 ウォーム・ビズ開始(以降毎年11~3月実施)
- H19.2.13 ISO更新審査(H19.5.28~H22.5.27)
- H19.7.2 かわしん環境クリーン定期預金発売(第1次募集)
- H19.10.1 かわしん環境活動報告書Vol.1発行
- H19.10.1 かわしん環境クリーン定期預金発売(第2次募集)
- H20.6.9 「チーム・マイナス6%」運動への参加
- H20.6.24 (財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付
- H20.6.24 (財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付
- H20.7.1 かわしん環境クリーン定期預金発売(第3次募集)
- H20.11.11 かわしん環境活動報告書Vol.2発行
- H21.2.16 かわしん環境クリーン定期預金発売(第4次募集)
- H21.5.19 (財)さいたま緑のトラスト基金へ寄付
- H21.5.19 彩の国みどりの基金へ寄付
- H21.7.11 かわしん環境クリーン定期預金発売(第5次募集)
- H21.11.10 かわしん環境活動報告書Vol.3発行
- H21.11.30 かわしん環境活動報告書Vol.3発行
- H22.2.15 かわしん環境クリーン定期預金発売(第7次募集)
- H22.3.10 ISO更新審査(H22.5.28~H25.5.27)
- H22.5.19 彩の国みどりの基金へ寄付
- H22.6.15 かわしん環境クリーン定期預金発売(第8次募集)
- H22.11.15 かわしん環境クリーン定期預金発売(第9次募集)

県のシンボルにしたのは埼玉県が初めてのことでした。

埼玉の中央部には荒川が貫流し、平野部には中小河川が網の目のように流れています。かつて、こうした低地にはハンノキ林があつて、ミドリシジミの絶好の生息地でした。しかし、宅地開発などが進み、埼玉の原風景であるハンノキ林は急激に減少、孤立化しています。

ある小学校はハンノキの種を採取し苗を育てて、群落の再生に挑んでいます。ミドリシジミは、私たちがふるさとの原風景を守り再生していく指標となるもの。美しい姿は、私たちの努力を見つめているのです。



ハンノキ

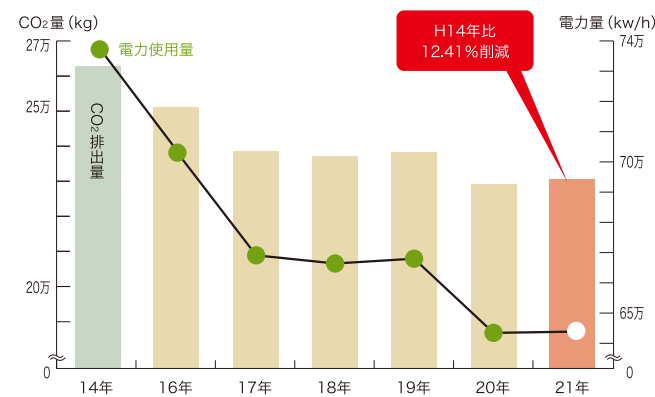


## 事業活動・環境活動の影響を把握する

事業活動や環境を保全する活動で投入した資源と生み出された価値を定量的に把握することは重要です。無駄を省き、浪費を抑えて効率的に環境負荷を最小限化する努力を続けています。

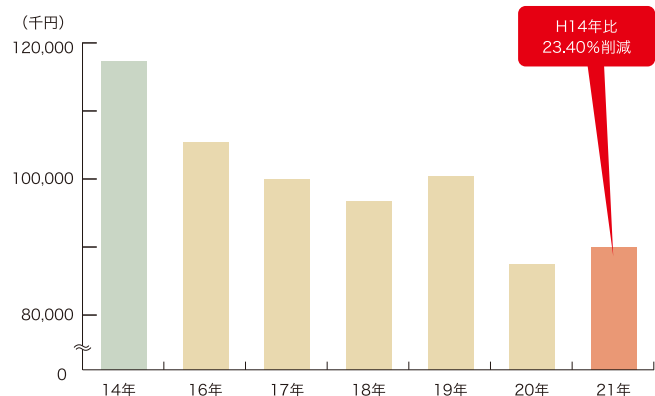
### 電力とCO<sub>2</sub>排出量の削減

電力使用量は前年比で0.46%増加しましたが、平成14年度比では12.41%削減して、目標(平成14年度比△11.6%)を達成することができました。削減した91,544kwh(平成14年度比)の電力をCO<sub>2</sub>に換算すると32,681kgに相当します。



### 紙の使用と排出量の削減

廃棄物全体のうち、特に紙の使用量と排出量に注目しました。前年比では金額ベースで2,276千円の増加となりましたが、平成14年度比では23.40%の削減率を達成し、目標(平成14年度比△14.5%)を大きく上回る結果となりました。さらなる削減を目指します。



### エネルギー削減の取り組み

昨年11月にリニューアルオープンした上尾支店は、太陽光発電システムを導入してロビーの照明・空調に利用しています。稼働から1年、季節や天候によって発電量は左右されますが、同支店が使用する月間の電力量の推移をみると冬場で約20%、夏場だと50%程度を太陽光発電で賄うことができます。

また、本店や他の支店でも消費電力が少なく長寿命のLED照明や省エネタイプの蛍光灯を採用するなど消費エネルギーの削減に努めています。

このほかクール・ビズとウォーム・ビズの実施、OA機器の効率的な活用、営業室内の不要な照明の消灯などに取り組んでいます。



本館4階LED照明



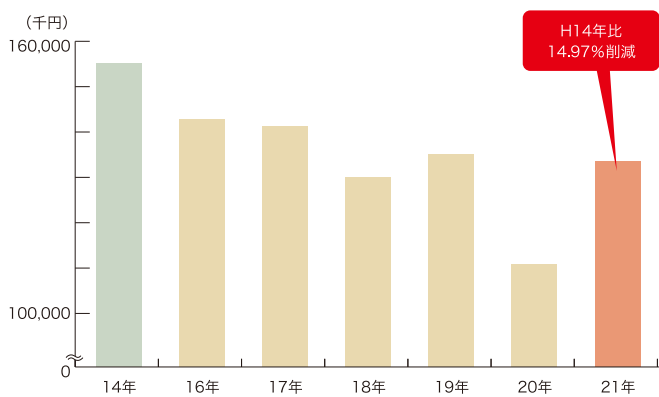
上尾支店

■上尾支店の電気量の推移 (単位: kwh)

	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
太陽光発電分	630	1272	1655	1250	1792	1965	2596	2420	2246
通常分	2582	4801	4289	3817	3635	3172	2592	2657	3262
計	3212	6073	5944	5067	5427	5137	5188	5077	5508

### 廃棄物の削減

事業活動に投入した資源は消費されて、いずれは廃棄されることから、物品の購入額から廃棄物の全量を定量的に把握しています。目標は物件費の11.5%の削減(平成14年度比)でした。これを大きく上回る14.97%の削減を達成しました。



### 廃棄文書の廃棄と再生

保管期限を過ぎた大量の文書の廃棄は焼却せず、セキュリティを十分に確保した上で溶解処理しています。細断せず紙の繊維がそのまま残るため再生しやすい利点があり、トイレトペーパーに再生しています。廃棄文書は本部が一括で管理し、平成21年度は52万ロールのトイレトペーパーに再生しました。

実施年度	廃棄文書重量(トン)	再生トイレトペーパー個数
H17年	103	103万個
H18年	36	36万個
H19年	45	45万個
H20年	40	40万個
H21年	52	52万個



## 環境マネジメントシステムを推進する

地域の発展と環境保全に向けて、環境マネジメントシステムを導入し、推進しています。地域社会の一員として環境問題に対する基本的な考え方を示し、具体的な活動につなげる取り組みを進めています。

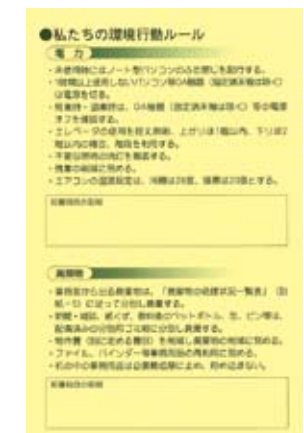
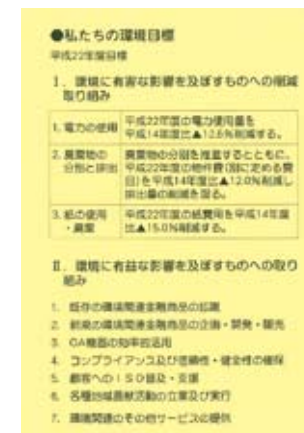
### 全職員が一つになって

かわしんでは、理事長を最高責任者とした体制の中で環境マネジメントを推進し、本部総務部に環境管理室を設置しています。環境管理委員会には環境担当役員、本部長及び本店営業部長が参画し、環境管理室が事務局機能を果たしています。この環境管理委員会で、環境方針に則った環境目標を毎年決定し、本部及び支店の環境の取り組みに対するマネジメントを展開しています。

また、平成16年度には環境マネジメントシステムであるISO14001の認証を取得し、理事長や環境担当役員がその進捗状況を定期的にレビューし、PLAN-DO-CHECK-ACTのPDCAのサイクルで、かわしん全体の環境マネジメントを推進しています。

### 環境意識の啓発と高揚

かわしんの全職員はEMS(環境マネジメントシステム)カードを携帯しています。そこには、かわしんが掲げる「環境方針」「私たちの環境目標」「私たちの環境行動ルール」が記載されています。



### 職員の環境教育

かわしんは本部、営業部門の新入職員とパート職員を対象に環境教育を実施しています。環境マネジメントシステムに基づいて計画的、継続的に行うことで環境に対する職員の知識と意識を啓発しています。

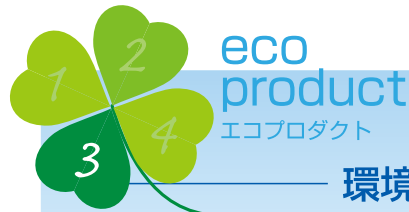


### 消費者としての環境意識

業務で使用するセールスプロモーションに環境の視点を取り入れ、販売促進品のラップやメモ帳などに環境に配慮された6品目を採用するなど、消費者としての環境意識の向上に努めました。



未来が変わる。日本が変わる。



## 環境保全に向けた商品・サービスを提供する

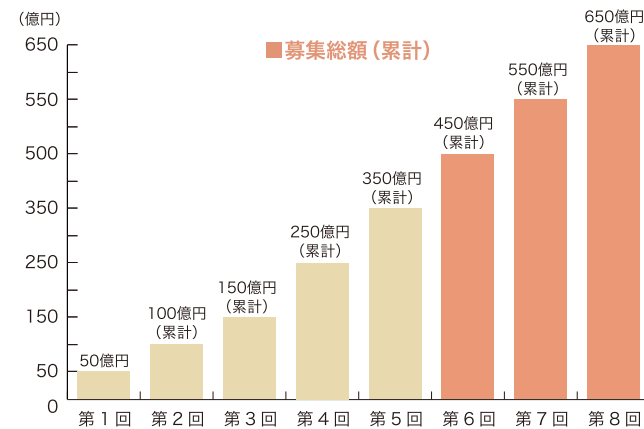
お客さまから満足、安心、信頼を得られる金融商品とサービスを提供することがかわしんの基本です。全職員がお客さまの声に耳を傾け、お客さまとともに環境負荷の低減と削減に向うことを心がけています。

### 環境クリーン定期預金

平成19年7月から継続的に募集しており、第6回(平成21年11月)、第7回(平成22年2月)、第8回(平成22年6月)を募集しました。募集金額は合わせて300億円でした。

この商品は募集達成総額の一定割合に相当する額を、かわしんが環境保護のために寄付するものです。もちろん、お客さまのご負担はありません。

環境関連商品が環境保護をサポートするだけでなく、募集パンフレットにさいたま緑のトラスト写真コンクールの入賞作品を採用するなど、商品の企画開発を通じて環境保護団体との連携を深めるきっかけにもなっています。



第6回



第7回



第8回

### エコライフを支援 住宅ローン

自然エネルギー利用や省エネルギー対策など地球環境に配慮した住宅の建設や購入を支援する住宅ローンを取り扱いました。埼玉県と連携し、固定金利、変動金利ともにかわしんの基準金利より年1.2%優遇します。この他にも家族のきずなや子育てを応援する住宅ローンもあります。



### 環境関連融資・ローン

ISO9001及びISO14001の認証取得を支援するISO関連特別融資を企画、開発しました。取得に関わる運転資金や設備資金にご利用いただけます。また、環境にやさしいエコカーの購入などにご利用いただける固定金利型のカーライフプラン・エコカー資金も好評いただきました。



## 環境への価値観を共有する取り組みを進める

かわしんが環境に対して何を考え、何をしようとしているのかを地域社会へ伝え、地域の人々がかわしんに対して何を望んでいるのかを知ること。地域社会とのコミュニケーションが欠かせません。

### 自然保護団体との連携

かわしんは、環境保全や保護をサポートする環境関連金融商品やサービスを企画・開発、販売してきました。その取り組みを通じて、埼玉県をはじめさまざまな団体と連携を深めています。そのつながりを活かして、財団法人さいたま緑のトラスト協会の活動に協力し、同協会の写真コンクール入賞作品をカレンダーに採用しました。

同協会はさいたま緑のトラスト写真コンクールを主催しています。カレンダーには、このコンクールの緑の部の最優秀賞作品を採用しました。埼玉県宮代町の自然を撮影した美しい作品で、大きな反響をいただきました。

カレンダー 24,500部を制作しお客さまへ配布することで、同協会の活動を支援するだけでなく、埼玉の優れた自然や貴重な環境への関心を高め、それらを保全・保護する必要性に対して広く理解を求めることができました。



### 地域社会の一員として

かわしんは人的な経営資源を活用し、事業活動以外でも地域社会に貢献していきたいと考えています。職員一人ひとりが市民として主体的にボランティア活動を実践できるよう努めることを目指しています。その一つとして、支店では店舗周辺の清掃活動を定期的に行い地域のクリーン化に協力しています。



### みどりと川の再生を応援

環境クリーン定期預金を通じて、彩の国みどりの基金へ毎年寄付を行っており、埼玉県が推進する「みどりと川の再生」を積極的に応援しています。



上田知事(中央)と共に、感謝状を手にした山口会長(左)と熊木常務

## eco eyes

(本店営業部お取引先)

### ものづくりの街で生まれたエコ商品 高い吸着力で人気に 永井機械铸造(株)様

川口はかつて鑄物産業で栄えたものづくりの街です。鑄型に使われ廃棄される砂をリサイクルして生まれた消臭剤に注目しました。

環境に優しいエコ商品を開発したのは、永井機械铸造(株)様(西澤敏雄社長、川口市中青木)です。同社が排出する廃砂の量は年間に350トンほど。川口市全体では年間3、4万トンにもなるとか。これらはすべて産業廃棄物として処分されています。

同社は、この廃砂をゼオライトにする技術を開発しました。悪臭の原因になる分子だけを微細な孔に閉じ込め、優れた吸着



鑄物産業を学ぶ研修生のふるさとベトナム製の陶器に入れた消臭剤

力を実現しています。孔のサイズを調整できる製造技術が注目されており、消臭だけでなくシックハウスの原因

物質なども吸着します。これを使って生まれたのが「ECOMONO(エコモノ)」シリーズ。ベトナム製の陶器や竹かごなどに入れてインテリアとしてもおしゃれです(写真)。使用後は土壌改良剤になります。

# 森を守り育て、みどりを「創出する」時代に

## かわしんが応援する緑の再生。今、埼玉の森林はどうなっているのでしょうか？

ECO INTERVIEW



**意識を変えて、みどりの再生運動に多くの参加を**

埼玉県環境部みどり再生課長 岡崎 守さん

彩の国みどりの基金は自動車税の1.5%とみなさんからの寄付で、森林の保全整備や身近な緑の保全・創出、環境学習の推進を行う仕組みです。川口信用金庫からの寄付もこれらの事業に使わせていただいています。平成21年度の実績では、寄付だけでも県全体で5100万円になりました。これは大変な額で、みどりの再生へ関心が高まっていることを感じます。

森林を守るためには間伐や下草刈りなどの手入れが欠かせず、これまでは林業によってきちんと支えられてきました。しかし、今は採算が合わず手入れが行き届かなくなっており、彩の国みどりの基金などを活用しながら再生を図っています。平成20年からの4年間で3000haの森林を再生するのが目標で、21年度だけで850ha、これまでに1550haを保全整備しました。

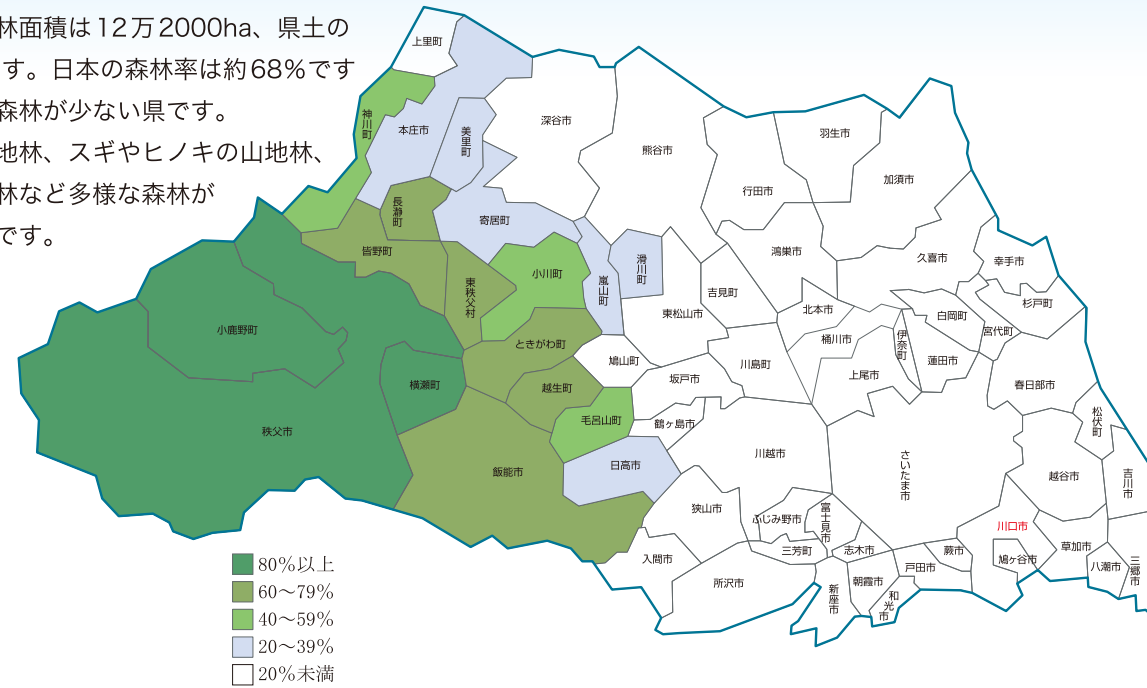
一方、身近な緑の創出では、建物の壁面や屋上の緑化などを進めています。平成21年度は幼稚園や保育所の園庭の芝生化にも取り組みました。都市部の緑化にとって貴重なスペースで、ヒートアイランド現象の緩和や環境教育などに効果があります。反面、維持管理に必要な人手や費用が課題です。今、地域ぐるみで子どもたちを応援する取り組みが進んでいますので、住民や企業の協力を期待しています。

また、県民参加でみどりを再生することも柱の1つです。「1人1本植樹運動」は、全ての県民の皆さんに木を植えていただく取り組みを進め、718万県民で718万本の植樹を目指すものです。鉢植えも含めて県民の皆さんが植えた樹種や本数を登録する「植樹エントリー」などで本数を把握しています。取り組みは2年目、8月に県全体で100万本を超えました。

最近ではみどりの再生を支援する商品やサービスなどが市場に登場しています。意識を変えることで商品選択の方法も変わり、大きな力になります。大事なことは関心を持って運動に参加していただくこと、みなさんご協力をお願いします。

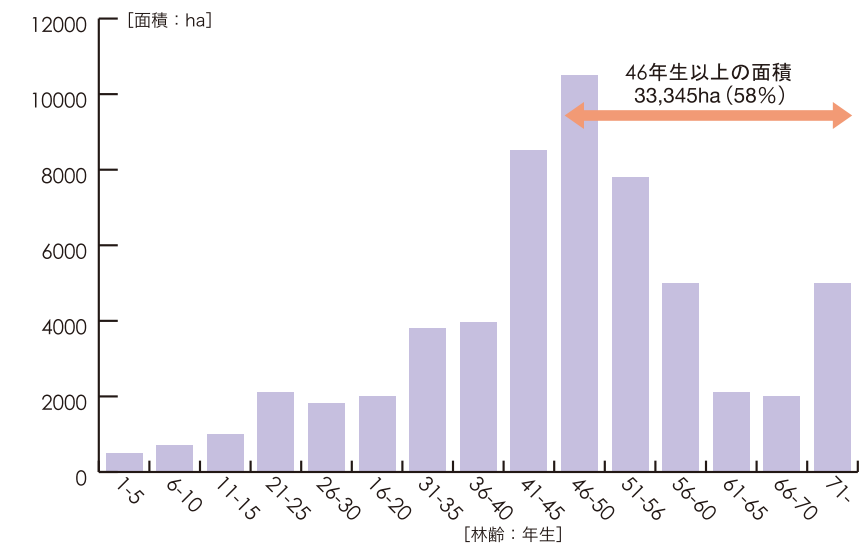
### 市町村別の森林率

埼玉県の森林面積は12万2000ha、県土の32%を占めます。日本の森林率は約68%ですから、埼玉は森林が少ない県です。秩父地方の奥地林、スギやヒノキの山地林、丘陵林、平地林など多様な森林があるのが特徴です。



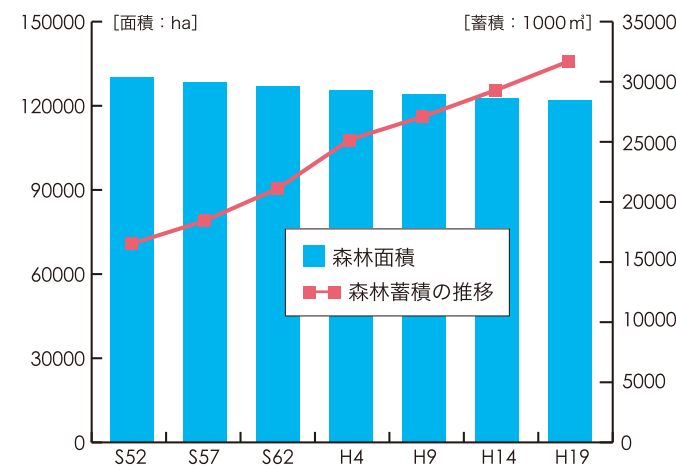
### 民有人工林の林齢別面積(埼玉県)

スギやヒノキは通常、植栽してから50年程度で利用できるようになります。グラフをみると46年生以上の面積は3万3345haで、全体の58%を占めています。県内の人工林は伐採して利用できる状態なのです。



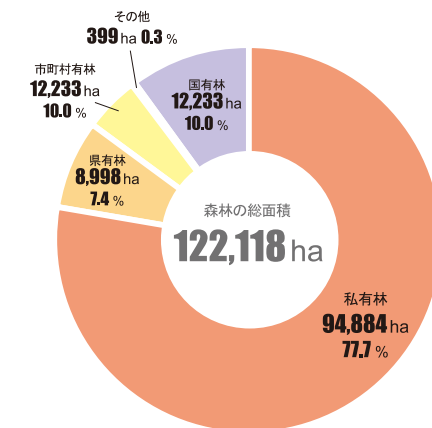
### 森林面積と蓄積の推移(埼玉県)

県内の森林総面積は10年間で8000haほど減少していますが、急激な減少と言えるほどの状況ではありません。問題は伐採時期を迎えているものの価格の低迷で採算が合わず、手入れや利用が進んでいないことです。



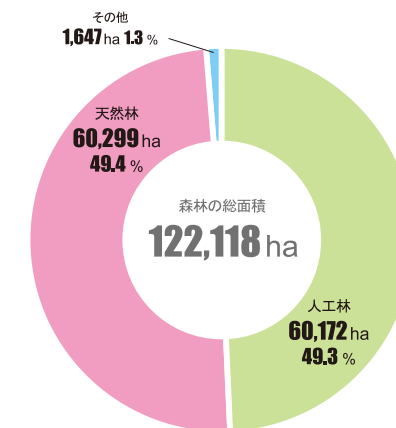
### 所有形態別の森林面積(埼玉県)

森林は所有形態から国有林と民有林に区別されます。国有林以外はすべて民有林で、個人の私有林だけでなく県や市町村のものもこれに含まれます。国有林が1割、残りの民有林の中でも私有林が約8割を占めます。



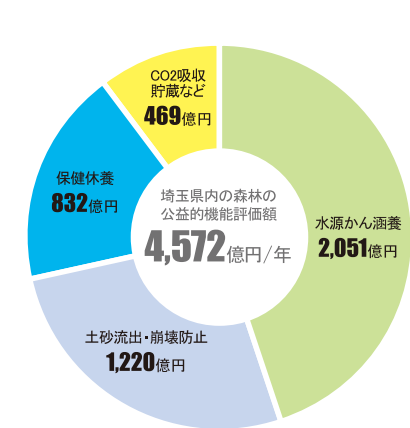
### 種類別の森林面積(埼玉県)

森林は天然林と人工林とに大別されます。県内の森林は人工林と広葉樹などの天然林が約半分ずつ占めています。人工林はスギ、ヒノキが多く、戦後から昭和40年代にかけて盛んに植林され伐採時期を迎えています。



### 森林の「公益的機能」評価額(埼玉県)

森林には水源の涵養や土砂崩れの防止、保健休養、CO2の吸収貯蔵の働きもあり、これらは公益的機能と呼ばれます。日本学術会議の試算よれば、県内の森林には毎年4500億円以上の価値があるとされています。





## 対談

### 信金としての基本を大切に 「エコ」を広げ、地域ともしっかりつながるために 環境保全のアクションへ

社会の一員として、  
地域に根づく信金として、  
何ができるかを伝えること

《小川》 埼玉新聞社は、3年前から環境キャンペーンを展開していて、川口信用金庫にも参画していただいています。今、埼玉県は水と緑の再生に取り組んでおり、キャンペーンは県と連携してドングリ拾いを呼びかけました。それを県内の農業高校の生徒に育てていただき、今年度から苗木の植樹が始まりました。

環境への関心が高まっている中で、読者参加型のキャンペーンへの反響は大きいですね。緑はCO<sub>2</sub>の吸収源としても期待されていますし、身近な所で緑を増やすことは、一人ひとりができる温暖化対策でもあります。

《秋元》 今年の夏は暑かったですね、埼玉は熱中症による死者が全国で最も多く話題になりました。異常気象だけでなく、ヒートアイランド現象も影響したのではないかと感じています。緑はCO<sub>2</sub>の吸収源だけでなく都市熱の緩和にも有効ですから、都市部で緑を増やすことはとても重要ですね。

埼玉県内のCO<sub>2</sub>排出量は全国平均の半分くらいです。これは化石燃料を大量に使う火力発電所や鉄鋼業がないためですが、排出量は増加傾向にあります。中でも民生部門、特に家庭からの増加が激しくて、基準年となる1990年と比較すると2007年で52.4%も増えている。この実態を知ると、暮らしの中で温暖化対策に取り組む

ことがいかに重要か分かっていただけたと思います。

一方、企業には事業活動が環境に与える負荷を把握し軽減する取り組みが進んでいます。「環境報告書」をまとめ公表する企業も増えていきますね。

《日下》 当金庫が初めて「環境報告書」を作成したのは4年前です。全国には272の信用金庫がありますが、当時、「環境報告書」をまとめたのは5金庫ほどでした。

川口市は環境に対して積極的に取り組んできた経緯があります。その川口の街に深く根付いてきた当金庫として何ができるのか。それを考えた時、まずは自らについて見つめてみようと、環境マネジメントシステムの認証取得を目指しました。平成15年のことです。

金融業の環境負荷は、全体から見るとさほど大きくありません。しかし、環境負荷をしっかりと把握し軽減する努力を続けることは、当金庫の社会的な責任です。同時に、環境への関心を高めていただけるように地域へ働きかけることも重要な役割です。

「環境報告書」では当金庫の取り組みと成果、そして地域社会の中で関心を高めるための情報の発信や啓蒙に力点を置いています。

### 取り組みの「見える化」は、 お客さまとのコミュニケーション

《秋元》 「環境報告書」は企業と顧客、あるいは消費者とのコミュニケーションツールですね。聞けば、環境に配

慮した定期預金があるとか。消費者にとっては預金して環境保全に寄与した成果を、「環境報告書」によって確認することができます。

考えてみると、消費者はさまざまな商品やサービスを比較し選択して購入します。「環境報告書」による企業姿勢の「見える化」は、消費者にとっては選択の重要な基準になると思います。

《日下》 「環境クリーン定期預金」は、お客さまに負担していただくのではなく募集達成額の一定割合を環境保護のために寄付するものです。こうした環境配慮型商品をご利用いただくことで、お客さまには環境保護に参加している意識を持っていただける。金融機関としてできる環境保全の1つのあり方だろうと考えています。

一方、県の「彩の国みどりの基金」へ寄付することで幅も広がってきました。例えば、カレンダーやパンフレットに写真コンクールの入賞作品を使わせていただいて、県や協会のPR活動を側面から支援する取り組みにつながっています。

### 連携の輪を広げて、 情報発信力を高め、幅を広げる

《小川》 環境に関心を持つ企業が増える中で、どんな取り組みが進んでいるのでしょうか。これは企業によって得意分野があるようです。経済的な支援、労力など人的な支援、あるいは子どもたちへの啓蒙活動などさまざまです。

2008年に県内企業を対象に行った調査では、すでに4割弱が「環境報告書」を作成していましたが、公開・公表しているのはその内のわずか2割でした。環境や社会に対する企業の貢献はコストや手間がかかる割に直接的な売り上げに結びつかないものです。しかし、企業が社会の一員として地域と共生するためには、理解を求めするための情報発信が欠かせないでしょう。川口信用金庫は「環境報告書」を2万部発行していると聞きました。本当に先進的で、評価すべき取り組みだと思います。



メディアとして、企業の情報発信力を支援するのは重要な役割です。そして、読者や市民、企業、NPOなどを結びつけて地域のネットワークを作っていくこと、そうした空気を醸成することが地元新聞社としての使命だと思っています。

《秋元》 私たちのNPOも埼玉新聞社と連携して温暖化対策事業を展開しました。マスコミと連携することで活動の幅が広がっただけでなく、情報発信力が飛躍的に強くなり事業効果が高まったと感じています。

こうした取り組みは各地で広がっています。静岡県では、ある信金と温暖化防止活動推進センターが連携してセミナーなどを開催したり、小学校で環境教育に取り組んだりしています。こうした連携の輪を、さらに広げていきたいですね。

《日下》 これまでも環境省が進める「チーム・マイナス6%」や「チャレンジ25」に参加して職員のアクションを喚起してきました。こうした取り組みをさらに進めることが、次のステップですね。

特に、当金庫は地域のつながりが基本ですから、県や市、地域社会に協力する形で運動や取り組みに参加していくことだと考えています。例えば、植樹活動や森づくりなどへの参加を職員研修として位置付けたらどうかなど検討を始めています。

取り組みの幅を広げるためにも、さまざまな分野の皆さんとのつながりを強めていきたいものです。



小川秀樹さん  
埼玉新聞社 代表取締役社長



秋元智子さん  
埼玉県地球温暖化防止活動推進センター  
NPO 法人環境ネットワーク埼玉  
理事・事務局長



日下義章  
川口信用金庫 理事長

# かわしんの環境関連商品

## かわしんISO関連特別融資 (ISO9001 ISO14001の認証取得費用)

- ご利用いただける方 …… 当金庫と継続して6ヶ月以上の与信取引がある方
- ご融資金額 …………… 1,000万円以内
- ご融資期間 …………… 運転資金5年以内(据置6ヶ月以内)  
設備資金7年以内(据置12ヶ月以内)
- お使いみち …………… ISO9001及び14001に係わる運転及び設備資金
- ご返済方法 …………… 元金均等分割返済 利息先取
- 保証人 …………… 代表者は連帯保証人
- 担保 …………… 原則不要であるが、一部協議により必要となる場合があります
- 金利 …………… 変動金利扱い基準金利は長プラ+0.7%とします

## 環境クリーン定期預金

募集達成総額の0.02%に相当する額を川口信用金庫から埼玉県へ環境保全活動に役立てていただくよう寄付いたします。お客さまのご負担はございません

スーパー定期の  
店頭表示金利の  
(契約時)

2倍

- ご利用いただける方 …… 個人のお客さま
- お預け入れ期間 …… 1年の自動継続定期預金
- ご預金の種類 …… スーパー定期
- お預け入れ金額 …… 10万円以上300万円以内(1万円単位)
- 適用金利 …… スーパー定期1年ものの「(契約時)店頭表示金利の2倍の利率」を適用します
- お預け条件 …… 当金庫へ新たにお預け入れいただく資金に限ります
- 取扱期間 …… 平成22年11月15日(月)～平成22年12月30日(木)
- 募集総額 …… 100億円(募集総額に達し次第販売を終了いたします)

## その他の環境関連融資

- 靑空再生低公害車導入資金(県制度資金)
- 環境みらい資金(県制度資金) 公害防止施設・快適な生活環境の創造・地球温暖化対策等
- オール電化住宅には、住宅ローンの金利優遇制度があります

## カーライフプラン・エコカー(環境自動車)資金

お取扱期間：平成22年10月1日(金)～平成23年3月31日(木)

かわしんは環境保護を応援します

本金利プラン基準金利  
年2.7% (固定金利)

○ハイブリッド車・電気自動車等  
エコカー購入資金は

○低排ガス適合車(四ツ星以上)  
購入資金は

年1.8% (固定金利)  
保証料別途

年2.2% (固定金利)  
保証料別途

本金利プランの  
対象となる方

「かわしんのカードローンをお持ちの方(新規可)」かつ、  
「かわしんの出資会員の方(新規可)」

- ご利用いただける方
  - ・当金庫の営業地区に居住又は勤務されている方
  - ・満20歳以上で継続して安定収入がある方
  - ・社団法人しんきん保証基金の保証が得られる方
- ご融資金額
  - ・10万円以上500万円以内(1万円単位)
- ご融資期間
  - ・5年以内
- お使いみち
  - ・自動車購入・二輪車購入
  - ・車検、修理、運転免許取得資金等(ただし、営業用車を除く)、および同資金使途の旧償返済資金で当金庫より支払先への振込ができるもの
- ご返済方法
  - ・毎月元金または元利金等返済、ボーナス併用返済もできます。ただし、ボーナス返済部分の元金は、ご融資額の50%までとします
- 保証人・担保
  - ・社団法人しんきん保証基金が保証しますので必要ありません
- 保証料
  - ・別途、保証料(0.95%)を一括でお支払いいただきます

※環境関連預金・融資について、現在の詳しい内容やご融資利率、ご返済の試算は本支店にお問い合わせください



この冊子は環境にやさしい大豆油インクを使用しています。



http://www.shinkin.co.jp/ksb/

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号  
TEL 048-253-3333 FAX 048-254-2665



JQA-EM 4039

本部及び本店営業部